日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE PROSPECT 238
ENTERED AS S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER
K. ARIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 6.50
DAILY.....ONE MONTH 1.00
SINGLE COPIES ..... 5 CENTS

日米

土地法事件
上告又敗る
同胞は今商的基石を築け

〔1〕

英字紙の傳ふる所によると、ブラサ郡の上級裁判所で敗れたる、ダットソー早川事件は、加州大審院で、一昨日又敗訴したと詳しい、事件の内容は、日本人土地法の下にて、日本人が賃作及び收穫に對して報酬を與へられ等は論じた、北加には比較的圓滑に進みつゝあるに反して、南加には却て問題が起る、北加ばかりでなく、同胞の勝ちでグン〳〵と我が同胞の住宅問題は屢々我が同胞の住宅問題の解決は其他多くの戰術を用ふることを我等は考へたるものらしいが、多くの土地法律的

紐育から紐育へ 世界早廻り競爭

敗られたマイアース君が 今夏榮冠を奪ひ還す決心

七月か八月に決行する

昨年七月米國人ウエルス・エバンスの南氏が廿日半で世界を一周して過去十一年の永い間最短時世界一周レコード保持者であつたジョン、マイヤース氏を破り世界新記錄を作つたことは讀者の記憶に新な所である。時マイヤース氏は之によつて大敗して再び榮冠を奪還しようと試みたが奮行に至らなかつた所、今度愈々決行準備を始めた。

右に就き當人からハルピン米國總領事館に種々依頼を發し期間最短で出た言葉は突如として彼れを地獄の底にも突き落したかのやうな不愉快極はまるものであつたのだ。

▽「俺は此のクラマス郡のお役人様だぞ」

男は傲然として斯う云ふのである。

「お前達は此のクラマス郡の役人様だぞ」

云ふまでもなく彼れは此の偉丈夫の口からスポーツマンらしい答へを豫期したのであつたが意外にも此の男の口をついて

淺草の活動劇場 三友館差押らる

本社東京特電　十二日午前七時着

東亞キネマの小林喜四郎氏と資金關係のイキサツから

淺草公園の活動寫眞劇場三友館は十一日開場間際に突然差押へられたが原因は資金の件にて東亞キネマ會社の小林喜四郎氏との間にイキサツを生じたからであるさ

不正牛乳狩から需要者九萬減退

尚毎日四千の割合で減る　當業者牛を捨てゝ夜逃す

東京市にて不正牛乳業者狩りを開始して以來市内の牛乳需要者四十萬の中既に九萬減少を來し猶毎日四千づゝの割合にて需要者減退しつゝあるため當業者の中にはやりきれずなり牛を捨ゝ夜逃げするものもある程である

四萬の見物夜の千住大橋掛かへ

工事を見んとして出かく

南北千住を繼ぐ長さ二百一呎の鐵橋を十一日夜〇時から二時間の間にかけかへる工事はいよ〳〵昨夜決行されたが此の破天荒的工事を見んとして四方の見物が押しかけた

形を變へた收穫契約に同胞敗訴

勞働契約の形でも實質は收穫契約と見做したらし　十一日加州大審院判決

加州大審院は、一昨日ブラサ郡の上級裁判所の判決を支持してダドレイ、早川の加州外人土地法違反事件に敗訴の判決を下つたが事件によると、同事件は土地法に違反せずして日本人は土地法に違反せずして日本人は栽培及び收穫に對しりコムペンセイション（報酬）を得るといふ契約の法理上の解釋をば大審院が決定的に否定したものにして其の内容は一九二四年に彼告米人ダドレー氏は、日本人早川氏と契約して、早川氏に土地を栽培せしめ利益に應じ報酬せんとしたのを、ブラサ郡檢事オリン、ローウエル氏より土地法違反として訴へられてゐたものである

ボーナス

契約の一種と見て判決であらうか

柴田副領事談

これに關して桑港總領事館の柴田副領事代理は語る「此詳細は目下研究中なれども、加州外人土地法は日本人と契約して、早川氏の收穫契約もボーナス契約の一種と見ふその内に判決文が屆いてから改めて詳細報告する。今回の判決は、單に法律上の解釋に過ぎざるものにして、其の實質は日本人から金儲けを計畫する人に對して、勞働者に對する搾取の目的のものとは思はれないよく調査研究しないと合法だ、こいふことも活躍した婚人達は、特に老婦人達は、金に大審院で敗訴の憂き目を見る者のためといふので一生懸命

今回の

今回の提訴事件も搾取の目的のものとは思はれない今回の敗訴は、ローウエル氏の敬老者を倒さうといふ計畫をしてゐるといふ由來佛教は祖先崇拜教で老人を尊敬する事を教へてゐるのである

佛教婦人會主催で敬老會開催計畫

佐々木總長歸桑後具體化　本社々説にヒントを得て

在留邦人中の草分けの人々今やに働いてくれたのでこれに感激してゐる折柄本社が敬老會を推奨したので遂にこれを具體化すべく婦人會に相談したのであるといふが、同婦人會でも大いに賛成し唯方法について目下研究中のことだが總長は南加旅行中であるから一部の桑港何さか具體化するであらうとのことだ。

早大軍九對七で華州大學に惜敗

シアトルに到着十一日午後街上行列を行ひ景氣をつく

シアトル特電　十二日午前七時

東部遠征を了りシアトルに着した早稲田大學野球團は十一日ワシントン大學チームと共に街上行列をなし大いに氣勢を擧げ午後ダッグデール野球場において五回連續戰の第一回試合を擧行したが旅行の疲れやグラウンドに慣ぬため奮戰せしも遂に左の如く九對七にて惜敗した

| | | |

日米月曜欄

日米詩壇

夕雲 (三)
加川文一

なにもない廣い枯れた野原
そこにこそ私は私の魂に
直かに觸れることのできる場
所を發見するのだ
淋しくなつた時、そこへ往け
ばいゝ
いかにいかに、私の魂は慰
められるか
そこに來て、私は吾が絶望を
味はう
淋しき、みすぼらしき、
枯れし野原を眺め果して
私は哭く

×

夕陽は沈んでゆく
赤く沈んで往かうとする
草は今はもう枯果てゝゐる
枯草の中には野大根の花が
すこしばかり咲いて
夕日に光つてゐた
私はその變らぬ美さに
恍惚れながら
夕陽の沈んでゆくのを深く深
く感じにうたれて眺めてゐた

綠蔭
中村美枝雄

綠藤に仰向けになつて
澄み切つた大空を眺めてゐる
際限のない空想が
私の胸を掻き亂して行く
死刑場にでも行くやうな
息苦しい幻影が
執念深くつゐ寄つて來る
何とさしに
纏つてふりすてゝ
漂泊つて見たいやうな氣が
止め度もなく湧いて來る日だ

夜の詩人
青柳清

幻の綠衣が見ゆるやうな月光が
灰色な放浪人の館府をつつむ
ころ、神秘な旋律に淋しく
彼は蹲中にうたふ
夢の大空にのほるのだらう
青葉に微笑んでゐる五月の朝
陽に
世界の遠ふ畫圖の君、友人遠は
君の昨夜のうたを平凡と嘲笑

日米歌壇

蹣跚
沼呱東

○アメリカの大空の下に芋掘ふ
大和男子の影地に這ひて
○アケシヤの葉の間を洩れてく
りやべの窓によろめく月一つ
あり
○さあれ君打さけやらぬその人
の心にもあれ男子戀ふねがひ
○故郷は遠き海路の彼方なれば
帆舟をたてゝ行くべくもなし
○夕雲の赤き翼下に山一つ黑き
姿に何待ちるるや
未だ見ぬ

きぬ子樣に
波多泰巖

○こゝろ待ちし人の言葉きみに
得て胸の高なり今宵戀くかも
○我慢むこゝろのきみに溶けて
入りきみが涙に見るぞ悅しき
○そのまゝにうけ入れられしき
みはよも惱める友とおろがみ
まつる
○ぬばたまの運命の絆ふりて生
くあかき心のきみに築あれ
○淚しけれ悲しけれども其のま
まのこゝろに生きんわが念願
かも
○現し身の淚しき心だきしめて
おのれ尊ぶさきさへもある
○眞實は淚しきこゝろ永遠にひ
さり旅ぞ天によばはる
○牢ごもやこゝろ目醒て青嵐
聽けばいやや情汝が生命かも

櫻んぼ
森中蔭人

○櫻の實熟れの盛りとなりにけ
り赤々として圓あきけらし
○櫻の實枝くるみ我剪り掉てくれば
寶枝くるみ我剪り掉てくれば

詩壇に就いて (二)
加川文一

三五郎君の言葉を借りて云へば、胸にも餘にもビンビンくる詩は餘に少いものだ。
三五郎自身は今年になつてからもちつとも書かうとしない。きゝたま數の氣品ふさき才を匂はせてくれ。

×

ほくの詩はむしろ單調で、僕の詩の名聲を見ただけで澤山だと思ふ人もあるだらう。渭城氏もそんなことをほくに話してゐられたが、ほくもそれを認めぬわけにゆかない。ほくは人並はづれて鈍物だが、ほんの一すかしこいところもあつて自分のことだけは自分でもかなりよく知つてゐる考へでゐる。ほくは今の自分のゆき方には不滿はない。枯れ草なら枯れ草、紅い夕雲なら夕雲について、羨つていつまでもかがへてゐることのできる自分を幸福な男だと思ひこんでゐる。
ほくはさうして考へこんでゐると自分が生きてゐる「イキモノ」だと云ふことをほんやりと感じることができるがその外では駄目だ。あんまり憲まれた人間ではないらしい。その點、森田よし丈君などんかよく知つてくれると思ふ。
ほくももうあまりあくせくと詩をこさへようとする思はなくなつた。自分の欲つする通りに其處に一線を太く出命のよろこびやサビシサを赤い夕べのように引いて見たい思ふそれきりだ。もつとも直接でありたい。
常に本當の詩を書かう、本當にやらうやらうと考へてゐる。そしてほくは今、いかに詩でも、その表現に於てはもつとも率直な言葉をもつてすべきだと信じてゐる。

日米俳壇

送別句錄
千葉浪一郎氏

會者 綠郎 紅人 渭城 逸蒼 葉把 雲雨 山崎 珠樹

千葉浪一郎

鞠をあげては笑ひやまぬ父子たわむれて子
夜あけぬまゝの池水は林をうつす
わかれ女のうしろ我には風吹たかまり
下りるを忘れた子を呼ぶ父親の口笛
池の水藻が流れさゝやけや

田原紅人

羅を着て黑いからだの匂ひにみつ
ひろ〳〵青さ鳴きかはしにはさり
裸馬に草が光るばかり

雜
きぬ子

○名も欲りや世の人言もたのまなじ をみなの命絶ゆべくも なし
○辻に立つ物乞ひの子に惠みして心たのしきこの朝かな
○狂風にまじる飛礫は身に泌めの鑑等はたゞに戰のくわれ
(六一九)

○水桶に溜る水を汲りて今朝剪り
○裏庭根の軒のまに築をかけ
し駒鳥は子をかへしたるらし
○全身の柔毛を立てし駒鳥の子
はくちばしを聞きけるかも
○指先を吾れの觸れば生き物の

机上片々

▲興へられたスペースを最も有効に……この係りの顧ひが却々むづかしい事だ、寄稿の人人としても亦多くの希望やら不平やあらうと思ふ、そうした事柄をブチまけて『不平と希望』といつたやうな作者が書いて送つて欲しい。簡單に讀者の聲が聞きたいのだ。

▲兎に角係りゝ江湖に交渉の味から、地方の文藝團體などの消息、又は文人個々の動靜等を集まめに知らして貰ひたいものだ。

▲更に自己紹介を掲げて、相互の理解と交情を温められれば中に携はる係りの欣快でもある。

▲脇水綠郎兄が故國へ去つて、そのエキセントリックの詩風しばらく見かへられぬことなつたが——。

▲驍將柳井伸樹兄が、十日入港のサイベリアで再び米土を踏んだ、暫らく故國の風非を詩囊に收めて歸へつた事さあり待つてその香り高い詩懷に觸れようか。

▲北米文藝社が出來かけて、又聲を潜めたのは寂しい。南加の殷盛に引比べて、こゝ霧の都はあまり沈靜に過ぎる。

▲白報社同人が活躍する外に、詩壇の一二、俳同人四五の人を除くと、全く寂寥々の感がある。

▲募集した小品文も集まつては來るが、何れも係りを喜ばしてくれるものが少ない、婦人が却つて男子より多いが、男子諸兄、一つ腕を見せて端敏遊勁な處を送つてくれぬか？

▲俳壇は單に新派ばかりでない。くぐいゝようだが、も一度寄稿の人々の注意を乞ひたいのは

◎原稿は凡て片面に書く事
◎ふり假名を忘れぬ事
◎宛名は文藝部のこと
◎字を丁寧に——

この四つを忘れぬように願つてたきます。(林)

【一〇二】
第二章
エピソード六

『君まで此處を出るのは止め給へ、いくらなぐり合つても話をつけられるのみ。一目で獨身者尚ほの部屋であることが解るやうな所だつた。たゞし同宿人のないだけが何よりのことだつた。

もう加州は暦の上では秋が立つてゐたが、けれども葉も散らず芝三重子と母とを結びつけつゝ考へた。

ここに動めた、或る大學教授の家へ夕方だけ皿洗ひに行つたり午前中は或美術店の賣り子をした、一人だけでは幾分づゝでも金はあまつてゐた、早く三重子にこの百弗を返却しなければならない、秋が來てゐるのだ、夏服の時季ではない、青春期の娘にして見れば秋の流行着一つは欲しいのだらう、彼の女が縫い彼の女は活動へ行くことを好まなかつた、何か食べにゆくことも好まなかつた、唯靜かにボツボツ話し合つて話し合つてあつたのだ。

やうなことが好きであつた、殊に「ドチラかさいへば文學の趣味を多く持つてゐた、それはわみに向くやうに自分の筆を曲げる程度からは脱してゐたが深いものではもちろんなかつた。

何の裝飾もない一塞の繃蓋一脚の机、二脚の椅子、ベッド、部屋の隅に黑く汚れかゝつたシンク、ベッドの上の壁に聖母マリヤの舊式なペインティングが懸けられてゐるのみ。一目で獨身者尚ほの部屋であることが解るやうな所だつた。たゞし同宿人のないだけが何よりのことだつた。

子供のやうに懸け離れてゐる手で稼ぎ貯めた金に惹ひないのを面より一層深く感じた。しかしそれによつて宗一を輕蔑するやうな氣は少しも起こらないのであつた。不快な話の後で、あの故郷の町の秋の夜に、二人で河岸へ行つて語り合つた思ひ出や、小學校の運動會にシャツを買つて貰へや嘆いたなつかしいお互ひの記憶を語り合つたのだ。

その愛々日純一は一つの鞄を提げて部屋をかへた、一人者に貸してくれる家はいくらもあつたが、金の都合でまり氣には入らなかつたが、日本人街の裏家の一室を借りることにした。

宗一の思ひなり主義なりが大人子供のやうに懸け離れてゐる事は、しかし、しばらくの間、彼の女が縫い彼の女は活動へ行くことを好まなかつた、何か食べにゆくことも好まなかつた、唯靜かにボツボツ話し合つて話し合つてあつたのだ。

やうなことが好きであつた、殊に「ドチラかさいへば文學の趣味を多く持つてゐた、それはわみに向くやうに自分の筆を曲げる程度からは脱してゐたが深いものではもちろんなかつた。

保險證提供

▲最高壹萬弗の
▲傷害 保險
▲締切 七月卅一日

日米新聞が過去廿八年間、忠實に社會の出來事を報道し、正論を主張し、輿論の代表者となり、所謂新聞紙としての天職を盡し得たことは一に、在留同胞諸君の有力なる後援と深く感謝致して居ります。
日米社は諸君の後援に對する感謝の意味に於て、同時に新購讀者募集、購讀料徵收、及び滯納せる過去の購讀料を回收して帳簿の整理を致したいので、今回桑港パイオニヤ保險會社と契約して本紙購讀者の爲に旅行及び步行傷害保險を提供致します

本傷害保險證は左記購讀料支拂者に對して發行致します

新購讀者 一ケ年分前金 十一弗支拂者
現購讀者 一ケ年分前金 十一弗支拂者
現購讀者 一ケ年分 十二弗支拂者

一九二七年五月十四日

桑港 日米新聞社

注意

本社は規定の購讀料の中より一弗廿五仙を割いて保險會社に支拂ひます。本紙讀者は普通の購讀料を支拂へば傷害保險證を得る事が出來るのです

本傷害保險證は十五歲以上、七十歲迄の人ならば其の職業の如何に關らず健康試驗なしに發行致します。
保險加入希望者は規定の購讀料に左の申込書を添へて倒送り下さい
保險證は本社から直接購讀者に送ります。
姓名は日英兩字にて必ず本人の自署たること。
傷害保險證提供は七月卅一日を以て締切ります
本傷害保險の効力は米國內に限ります

保險申込書

一金十弗七十五仙 日米新聞一ケ年分
一金二弗二十五仙 保險料及登錄料
合計金拾貳弗也

一金九弗七十五仙 日米新聞一ケ年分前金
一金一弗二十五仙 保險料及登錄料
合計金拾壹弗也

金弗 仙也

日米新聞購讀料として倒送申上候間パイオニヤー傷害保險會社發行の旅行及步行傷害保險證御送附被下度願上候

一九二七年 月 日

姓名 現購讀者 新購讀者

(英字にて左記例記入下さい)

Name(姓名)……

Age(年齡)……

Address(住所)……

日米新聞社御中

保險證の要目を左に譯出致します

▲第一項

(A)被保險者が乘客として汽車、汽船、フエリーボート、ストリートカー、エレベーテッドレールウエー カー、地下鐵道等に搭乘し居る際、衝突又は破損等の結果死亡又は傷害を受けたる場合又は
(B)被保險者が乘客として客馬車、タキシー カップ、ステージ等に搭乘し居り、ライセンスを有するドライバーに依りて操縱され居る際、衝突又は破損の結果傷害を蒙り卅日以內に死亡又は左記規定の如く身體の一部を失ひたる場合會社は左の割合にて保險金を支拂ふ

生命を失ひたる時 一萬弗
兩手を失ひたる時 一萬弗
兩足を失ひたる時 一萬弗
片手片足を失ひたる時 一萬弗
片足片眼を失ひたる時 一萬弗
片手を失ひたる時 二千五百弗
片足を失ひたる時 二千五百弗
片眼を失ひたる時 二千五百弗
仕事を休みたる場合(第四項Aの規定に從ふ)一週廿弗
保險金は右記一項目以上支拂はず

▲第二項

(A)私用自動車、或はモーター備へつけの車輛を操縱し、或はこれに搭乘し居る際、衝突又は破損の結果、或はアクシデントの爲め車上より拋出された結果死亡し又は傷害を受けたる場合(モーターサイクルを除く)又は
(B)客用エレベーター(礦山用エレベーターを除く)にパッセンジャーとして乘り居る際破損の爲め傷害を蒙り卅日以內に死亡又は身體の部分を失ひたる場合會社は左の割合にて保險金を支拂ふ

生命を失ひたる時 二千弗
兩眼を失ひたる時 二千弗
兩手を失ひたる時 二千弗
兩足を失ひたる時 二千弗
片手片足を失ひたる時 二千弗
片足片眼を失ひたる時 二千弗
片手を失ひたる時 七百五十弗
片足を失ひたる時 七百五十弗
片眼を失ひたる時 七百五十弗
仕事を休みたる場合(第四項Bの規定に從ふ)一週十弗
保險金は右記一項目以上支拂はず

▲第三項

(A)パブリックハイウエーを通行中、又は佇立しつゝある際、自動車又はスチーム、ケーブル、電氣、揮發油、馬、壓搾空氣或は水壓等に依りて進行を爲す車輛の爲に突當てられ倒突され、或は轢倒された場合(パブリックハイウエーにて仕事せる時又は汽車の通路を除く)又は
(B)教會、劇場、圖書館、學校、市役所等の火災の際、被保險者が火災の當初より其の場に居合せ、火傷を蒙り又は煙の爲に窒息せる場合、又は
(C)雷電、颶風、龍卷の爲に傷害を受けたる場合又は
(D)建築物の外壁倒壞に依り傷害を受けたる場合(建築、取壞し、又は修繕の爲め其建物中に働き居る場合を除く)
(E)生命救護人の居る海濱、公設水泳場にて溺れたる場合以上各種の場合に於て傷害を受けたる結果卅日以內に死亡又は身體の部分を失ひたる時、會社は左の割合にて保險金を支拂ふ

生命を失ひたる時 一千弗
兩手を失ひたる時 一千弗
兩眼を失ひたる時 一千弗
片手片足を失ひたる時 一千弗
片足片眼を失ひたる時 一千弗
片手を失ひたる時 二百五十弗
片足を失ひたる時 二百五十弗
片眼を失ひたる時 二百五十弗
仕事を休みたる場合(第四項Bの規定に從ふ)一週十弗
保險金は右記一項目以上支拂はず

▲第四項

(A)被保險者が一ケ年以內に第一項規定の傷害を受けたる結果職業又は仕事を爲す能はざる場合會社は一週間二十弗の割にて十週間扶助金を支拂ふ
(B)被保險者が一ケ年以內に第二項第三項の傷害を受けたる結果職業又は仕事を爲す能はざる場合會社は一週十弗の割にて十五週間扶助金を支拂ふ

公認調劑 大阪藥店 無料送郵
有効通經丸 通強瀉十錠
ヒロセ胃腸藥 五錠 五〇〇
セーピル 五〇〇
スパルタン 五〇〇
カルクス 五〇〇
パーワー 五〇〇
活力素 二〇〇
強壯丸 二〇〇
長命丸 一〇〇
人參補丸 三〇〇
人參丸 三〇〇
機能發育器 八弗 十四弗 十八錠
性能 強壮第一の器械
淋病ゴノタール 五錠
淋病ゴノキール 五錠 九弗
淋病新發見 一〇〇
淋病命丸 一〇〇
淋病人參丸 三〇〇
子宮病 二弗
子宮病 九十日分 二弗
子宮病 九十日分 二弗
子宮病 九十日分

南加版

六月十一日　羅府支社發

本社日本見學團員 南加團歸羅す

大元氣にて久し振りに南加の土を踏んで喜ぶ

多數の出迎へを受け

本社主催日本見學團一行の南加來寓を代表し佐村羅建氏の祝辭はウオーターハウス夫人同じあり一式終て次に臨て用意のビール赤飯その他の軽走に舌つゞみを打ち午後一時より各競技に移り中にも甘藷五人拔きあり羅府日曾荒谷氏及び岩永辨は見事にて東西團の御幣は藤原安雄、岸本常五郎の兩氏の手で出發前より肥つて見へて軍身に渡り手秋樂を告げ餘興に移り午後五時より散會したが結局は永眠するよりほかなく三日間の歓迎は

▲木戸賞上高
一九三三五〇〇
二九一九五〇〇
九九三一〇〇
五五〇〇〇
一五四三一〇〇
差引千〇七十六弗四十仙で
右の内六百弗は參事員諸君の寄附であつたと

▲繰頭総高
合計
二九一九五〇〇
九九三一〇〇
五五〇〇〇
一五四三一〇〇
差引千〇七十六弗四十仙で
右の内六百弗は參事員諸君の寄附であつたと

▲諸入費
合計
一五四三一〇〇
差引千〇七十六弗四十仙で
右の内六百弗は參事員諸君の寄附であつたと

▲出演者に禮
合計
一五四三一〇〇
差引千〇七十六弗四十仙で
右の内六百弗は參事員諸君の寄附であつたと

▲木戸賞上高
一九三三五〇〇
二九一九五〇〇
九九三一〇〇
五五〇〇〇
一五四三一〇〇
差引千〇七十六弗四十仙で
右の内六百弗は參事員諸君の寄附であつたと

小泉よね子
有川武男、沖田巌寸、土橋富子

「お土産ですつて、持つて來ましたよ、眼と胸に一杯それに日本のキモノ、それから……歓へ切れませんよ、美しい親切な國民です、平民的な人々です、我々の祖先の有した文化、現在の産業、美術、行つて見ねば解りません、鬼に角い旅行をして貰ひまして御社を始め南加の皆様に何と御礼の申やうもありません」と流石の日本婦人の言葉、やがて一行は出迎の自動車に分乘して羅府日米社に至り記念の撮映次の諸件があられた、練習艦をなし見學團の團歌を合唱して解散した、一行は近く再び會合の上見學講演會を開催することになるであらう

山岸氏の個展

十五日から開催す

毎日午後一時より山岸氏の版畫展覽會は昨報の如くであるが十五日の午後一時より毎日午後一時から午後九時まで一週間開催し十八日夜は絲七社の主催で同氏の日本版畫に對する講演をなす筈で各方面に向け案内狀を發送したるよし

エンセナダ日會

創立記念一周年

六月六日は當地日會創立一周年に相當するを以て一日前日曜日（五日）に繰かへ午前十一時會堂に集合直に南方の海岸タンよりの釣三哩の地點に於て一大團欒を催し午後三時から海岸共に今は多代命を懸したり海岸共に今は多代にも拘らず意外の人出あり集まる者約七十有餘十一時五分號砲を共に會場に集る野中會長の司會のもに開會の辭あり次プトン通信を讀んでるるカンプトン在住のハーンといふ一米人は三十四五から四十を越ゆ人が二十年前の同窓である日本人は何だか心淋しくなるものだ人エス藤井といふ男を探して一度は是非逢つて見たいといふことを感じて幼少の頃がなつかしくなり歓小たる藤井撃君であつた

×

人に逢つて、思ひ出すのは幼を見て藤井氏がさんな氣持で一番早く思ひ出される、そるるやらで昨日原を叩いて「三層何でもいへぬ淋しさを感じ幼少の頃がなつかしくなり歓小たる藤井撃君であつた

×

友情の覆さ、このレポートが一番早く思ひ出される、そるるやらで昨日原を叩いて「三層何でもいへぬ淋しさを感じ幼少の頃がなつかしくなり歓小たる藤井撃君であつた

×

友情の覆さ、このレポートが一番早く思ひ出される、そるるやらで昨日原を叩いて「三層何でもいへぬ淋しさを感じ幼少の頃がなつかしくなり歓小たる藤井撃君であつた

×

昔の思ひ出を書き出すと逢他に一人もないくらるで、それよ」さうするとそれは木村松南氏も明治十五年生れかしらん、松南氏

×

ダンスといへば農園の木影に集つて踊るんなで、彼の夜の美しいシーン今も誰彼れの胸に浮びます、幼時の思ひ出はまるで活動寫眞でも見る樣ですねゑ」

明日二十年前の是れらのクラスメートに逢ひに行くといふ藤井君は何時までも昔の姿を忘れたくないやうな氣分でるる、折角の思ひ出を妨げてはと思ひ扉を開けて階段のところを歸る藤井君を追ひかけに呼止めて「僕は明治十五年生まれだ藤井君は日本人の學生だ」

×

夜は篝火を燃やして若い男女が集つて踊るんなで、彼の夜の美しいシーン今も誰彼れの胸に浮びます、幼時の思ひ出はまるで活動寫眞でも見る樣ですねゑ」

×

西位の馬が繋がれてるましたよ

「三階の窓から」

（六十五）　岡人杜

人は三十四五から四十を越ゆ人が二十年前の同窓である日本人エス藤井といふ男を探して一度は是非逢つて見たいといふことを感じて幼少の頃がなつかしくなり歓小たる藤井撃君であつた、それが南加の同胞間に知られた藤井撃君であつた

×

友情の覆さ、このレポートが一番早く思ひ出される、そるるやらで昨日原を叩いて「三層何でもいへぬ淋しさを感じ幼少の頃がなつかしくなり歓小たる藤井撃君であつた

×

昔の思ひ出を書き出すと逢他に一人もないくらるで、それよ」ここの話を持ち出す

×

逢二三四前の羅府日米のカンプトン通信を讀んでるるカンプトン在住のハーンといふ一米人は三十四五から四十を越ゆ人が二十年前の同窓である日本人エス藤井といふ男を探して一度は是非逢つて見たいといふことを感じて幼少の頃がなつかしくなり歓小たる藤井撃君であつた

×

友情の覆さ、このレポートが一番早く思ひ出される、そるるやらで昨日原を叩いて「三層何でもいへぬ淋しさを感じ幼少の頃がなつかしくなり歓小たる藤井撃君であつた

×

昔の思ひ出を書き出すと逢他に一人もないくらるで、それよ」

×

「今から考へると夢のやうですねゑ」

×

ほど若く、四年前の藤井氏も今日の藤井氏も同じで不老の樂でも持つてるるのか木村松南氏も同じこと

×

隙話休題、藤井君はカンプトンのハイスクール當時を思ひ出しては、さも心地よさ相に當時の事を語り出し、腰を窓外に投じては竹馬の友ハーン氏や現に岡校に教鞭を取るベル氏それに南大のプロフェサー、マルコム氏なども胸に繪がくらしい、

×

「今から考へると夢のやうですねゑ」

×

ほど若く、四年前の藤井氏も今日の藤井氏も同じで不老の樂でも持つてるるのか木村松南氏も同じこと

×

隙話休題、藤井君はカンプトンのハイスクール當時を思ひ出しては、さも心地よさ相に當時の事を語り出し、腰を窓外に投じては竹馬の友ハーン氏や現に岡校に教鞭を取るベル氏それに南大のプロフェサー、マルコム氏なども胸に繪がくらしい、

×

「今から考へると夢のやうですねゑ」

×

ほど若く、四年前の藤井氏も今日の藤井氏も同じで不老の樂でも持つてるるのか木村松南氏も同じこと

×

隙話休題、藤井君はカンプトンのハイスクール當時を思ひ出しては、さも心地よさ相に當時の事を語り出し、腰を窓外に投じては竹馬の友ハーン氏や現

廣島縣人會にて練習艦隊の歓迎

婦人の希望に依り縣人會附屬の婦人會を創設する

南加廣島縣人會にては九日夜役員會を同車務所に開催した、出席者二十三名に及び先づ竹田幹事より旅務會計の報告ありて全部これを承認した、その中に會員募集二百名のゴールを突破して二百三十名となり會費の募集總額七百四十八弗に達したる報告あり次に諸件があられた、練習艦隊の來航については谷口大將が先般來航した際に催したやうな歓迎方法を爲す事に決したるも因に今度來航する廣島縣出身の練習艦隊乘組員は九十名であり谷口大將來航の際には金員を歓迎記念品を贈呈した今度も略これに倣ったプログラムが作製されることゝ豫想されること

婦人同盟の幹部會

昨夜開催される

羅府婦人同盟では昨日幹部會を開催し出席者は古澤、岩瀬、野崎、島野、鈴木、京戸、各夫人にして近く開催の羅府日曾野遊會に際して賣店を引受ける模樣であるよ

羅日主催の演藝會

歓支決算報告
參事員諸君の寄附六百弗

先般羅府日曾で開催した子供芝居の決算報告は一昨夜の參事員會で報告されたが種々の費用差引千〇七十六弗四十仙で右の内六百弗は參事員諸君の寄附であつたと

坂本氏來羅す

羅しミカドホテルに投宿したるよし

新世界王府支社主任たりし坂本正雄氏は夫人同伴自動車にて來羅しミカドホテルに投宿したるよし

五十頁餘の

喜多能樂會會報

第二號發刊さる

羅府喜多能樂會は先般會報第二號を發行し數日前第二號を發行したが同會は目下新會員多數あり稽古に熱心で二宮師匠も三月末まで、フラットは賣りよい關係から變動多くカンタロップは五十仙方下落最高十仙くらるまで唱へた

▲ポンチ物は市價に變動ないがスピニチ、ラデシュ、人參、ビニチは十五仙賣りの粗悪品叮寧可なり賣殘りを見た、スプラッシュ等は鋼ごなりビートの上物はやゝ強氣に見へた

▲アスパラガス

アスパラガスは氣配よい方で八四一五

市場

土曜朝の市場は市價の變動多く賣れゆきも先づ普通であつた、しかしポンチ物中殘荷を見たる物多く、カンタロップ、スクワシ等は鋼ごなりビートの上物はやゝ強氣に見へた

▲アスパラガス

アスパラガスは氣配よい方で八四一五

南加要求欄

土地

エルセントンに同廠所有十七英加の新作地あり本人羅望者は北サンピドロ街一一七番廣嶋縣人會　竹田まで

正木氏に告ぐ

解決の途あり至急歸れ

北サンピドロ街一一七　安田

羅府支社電話

ミュチュアル　八四一五

藤井法律事務所

東一街三二半
電話ＶＡ九七一一

安原商店

115 N. San Pedro St., L. A.
Tel. VA 9506

日本郵船
大阪商船
グラー汽船
切符代理店

勸工場

何でもある店
羅府東一街三四七
電話ＴＵ二三〇八

今週封切り

帝キネ大映畫

新派悲劇

黎明の鐘

（全六巻）

幹部俳優出演
時事悲劇

被告になる迄

（全三巻）

餘興映畫はありません直ぐ日本畫を寫します

富士活動常設館

東一街三二四　電話ＭＥ三二八二

開演　平日午後七時より、同七時より木戸五十仙均一
土、日、午後二時、同七時より〇二回

辯士　辻岡靜風

日本行貨物、市内外運輸取扱

出入國手續、子供旅券下附

羅府東一街三六番
電話　ＴＵ六二八九　ＶＡ五三七九

ユニオン事務所

切符代理店

日本郵船
大阪商船
グラー汽船
エキスプレス
アメリカン
ホテル

かまぼこ

長本

三一ジャクソン街
（電話ＶＡ二八二七）

太平洋印刷所

羅府東一街二三三
電話タッカー六〇六〇

太陽堂

日本郵船
大阪商船
切符代理店
248 E. 1st St., Los Angeles
Tel. VA. 9796

第一街グラージ

東一街二百十九
電話ＴＵ二六一八
風早勝一

御料理花月

羅府東一街三四二
北サンピドロ街一一七

羅府文林堂

趣味書店
BUNRINDO BOOKSTOOK
303 E. First St., Los Angeles, Calif.

最新油繪の描き方　川島理一郎　二、八〇
私の圖畫教育　後藤福次郎　四、五〇
天路歷程　佐木東雄譯　二、八〇
イヴンチェリン　幡谷正雄　一、〇〇
ローンテニス　福田雅之助　二、八〇
飼鳥七講　上、下各　一、五〇
雜誌　中央美術　一、〇〇
紅　五〇　文藝公論　一、三〇
トリエ　一、〇〇

純日本製蚊帳各種大賣出し

大阪本店
西川甚五郎商店の精製品

品質が堅牢で體裁が優美の爲め昨年度同胞各位の御愛用を賜はり吊蚊帳、ベビー用蚊帳が本年も新荷到着致しました。各地小賣商店にて御買上げ下さい。
＝（洋傘式）＝

吊り蚊帳各種

サイズ	高	横	縦
特大型	六十七時	七十八時	九十二時
大型	六十六時	六十八時	九十時
中型	六十時	四十四時	八十時

ベビー用蚊帳各種
キツコー印天下一品の優美優良品

各地最寄の小賣店にて御求め下さい

米國一手販賣所
崎山商店（サクラメント市）
崎山支店（スタクトン市）

卸賣の部
望月貿易商會
444 Sansome St., S. F. Calif.

品質美味本位

北米貿易株式會社
食料品部

フレスノ【十一日】河崎顯了師の佛教講演

四大普遍の信條を說く

永らく眞宗中學の校長として英に携はり最近には木津木場師さしも大藏經を現代語に譯して(新譯佛教聖典)日本の宗教界に不朽の事業を完成した東本願寺特派の河崎顯了師は藤原津布良佛教使同伴本日午後四時二十分着布眞にオレンダー奥田芳郎氏の葡萄園を視七時より花月における

▲歡迎晩餐會 に臨み佛教會重役及有志二十餘名と食の後京極開敎使の歡迎の辭に對し今回歐米旅行の目的は海外同胞を慰藉し且戰後歐米の思潮界が動きつゝある機運において出來得べくんば十方の茶毘に念佛を知らせんがためとの挨拶あり續いて佛教會堂の講演に移つて唐突の開催なれども拘らず百名の來聽者あり素朴な村夫子然たる風采の老師は南聖連日連夜の疲勞をも打忘れむる傳道の熱誠に感じ二時間に亘る長舌を振つた――師は佛敎は感情の宗敎であるが理智の宗敎であるとの信徒の多數が理智の方面に理解のなきを慨嘆し佛敎の根本を論じ四つの綱領を(一)生命の永遠性(二)變化の原動力(三)現世界の價値(四)佛の住む世界とし之れを一々說明し自個の生命は阿彌陀とともに無量壽である故に佛敎徒は道德倫理丈に滿足せず永遠の生命を攝まんに努むる次ぎに自個は四體と精神なりその本體は生死を超越する實在であるこの本體はたとへば水の如く生死は波の如きものであるとの比喩を以て說明し自個の二原を說くもので茲に責任を他に轉嫁する矛盾が生ずる所以で自個と眞理とを一體とし自個の人格が

▲佛の姿 となり凡夫身のまゝに佛の世界に安住し得るにいたるのである斯の四大根本原理は佛敎の各派に普遍的な根本である而して之れの根本思想の上に經對の信を建つべきである之れを結び最後に京極開敎使の謝辭で十時半閉會となり少憩のち午前十二時二十分の汽車で桑港に向かつたと

ダイニューバ便り

▲講演會 ダイニューバ修養會では十八日(土)午後八時より奏樂馬氏を聘しホールにおいて修養大會の講演會を開くこと

▲水災保護金 先夜今曉した榎商店の水災保護につき紙より出張調査したが不日保護金額の支拂があるべく豫期さる

▲葬儀 福本遠二氏のベビー葬儀は日午後三時布市佛敎會にて京極開敎司式のもとに行はれ(ち火葬場に於)榎喪主代理奈良岡明氏の挨拶あり來葬者を花月に

▲歡賀會 中谷功之氏(文五十日)記念として十五歳末田敎諸氏(亡子四十九日)記念として十歳いづれもダイニューバ修養會へ

▲卒業祝賀會 南美以敎會エボス同盟では月曜夜今期公立學校を卒業した男女學生のための祝賀會を催したが出席者十五名の卒業生は左の如し

ハイスクール 花田和美 程花田雅太 平本繁人

▲榎商店再開 先夜火災のため休業中殆ど全部焼失した榎商店は近日總領事館を經て故國に發送する商品を全部焼失した榎商店は近日再開店の計畫にてローケーションを選定中だ

▲奇禍 河田房子(八歳)は南三日前山本商店の前にて遊戯中自動車に立てかけありし重量五百貫もあるアイスボックスの天井が倒れたの下敷きとなつたが不思議にも内臓の故障もなく自宅に靜養し之れ丈の數きとなつたが不思議にも内臓の故障もなく自宅に靜養中殆ど全快に近づいたと

▲害附 中谷家より故害四郎氏(三五十日祭)記念として兩美以敎會へ――末田敎諸氏より亡四十九日忌に學國及び母の會へ――植野傳次、花田雅藏氏より敎會へ

▲寄附 中谷功之氏亡父五十日忌に學國及び母の會へ――植野傳次、花田雅藏氏より敎會へ

▲歡迎會 福本遠二氏ベビー葬儀の日午後三時布市佛敎會にて京極開敎司式のもとに行はれ(ち火葬場に於)榎喪主代理奈良岡明氏の挨拶あり來葬者を花月に

▲害附 中谷功之氏亡父五十日忌記念として十五歳末田敎諸氏亡子四十九日記念として十歳いづれもダイニューバ修養會へ

▲卒業祝賀會 南美以敎會エボス同盟では月曜夜今期公立學校を卒業した男女學生のための祝賀會を催したが出席者十五名の卒業生は左の如し

ハイスクール 花田和美 程花田雅太 平本繁人

▲榎商店再開 先夜火災のため休業中殆ど全部焼失した榎商店は近日總領事館を經て故國に發送する商品を全部焼失した榎商店は近日再開店の計畫にてローケーションを選定中だ

▲奇禍 河田房子(八歳)は南三日前山本商店の前にて遊戯中自動車に立てかけありし重量五百貫もあるアイスボックスの天井が倒れたの下敷きとなつたが不思議にも内臓の故障もなく自宅に靜養中殆ど全快に近づいたと

▲害附 中谷家より故害四郎氏(三五十日祭)記念として兩美以敎會へ――末田敎諸氏より亡四十九日忌に學國及び母の會へ――植野傳次、花田雅藏氏より敎會へ

▲奇禍 河田房子(八歳)は南三日前山本商店の前にて遊戯中自動車に立てかけありし重量五百貫もあるアイスボックスの天井が倒れたの下敷きとなつたが不思議にも内臓の故障もなく自宅に靜養中殆ど全快に近づいたと

▲害附 中谷家より故害四郎氏(三五十日祭)記念として兩美以敎會へ――末田敎諸氏より亡四十九日忌に學國及び母の會へ――植野傳次、花田雅藏氏より敎會へ

▲歡迎晩餐會 に臨み佛敎會重役及有志二十餘名と食の後京極開敎使の歡迎の辭に對し今回歐米旅行の目的は海外同胞を慰藉し且戰後歐米の思潮界が動きつゝある機運において出來得べくんば十方の茶毘に念佛を知らせんがためとの挨拶あり續いて佛敎會堂の講演に移つて唐突の開催なれども拘らず百名の來聽者あり素朴な村夫子然たる風采の老師は南聖連日連夜の疲勞をも打忘れむる傳道の熱誠に感じ二時間に亘る長舌を振つた――師は佛敎は感情の宗敎であるが理智の宗敎であるとの信徒の多數が理智の方面に理解のなきを慨嘆し佛敎の根本を論じ四つの綱領を(一)生命の永遠性(二)變化の原動力(三)現世界の價値(四)佛の住む世界とし之れを一々說明し自個の生命は阿彌陀とともに無量壽である故に佛敎徒は道德倫理丈に滿足せず永遠の生命を攝まんに努むる次ぎに自個は四體と精神なりその本體は生死を超越する實在であるこの本體はたとへば水の如く生死は波の如きものであるとの比喩を以て說明し自個の二原を說くもので茲に責任を他に轉嫁する矛盾が生ずる所以で自個と眞理とを一體とし自個の人格が

▲佛の姿 となり凡夫身のまゝに佛の世界に安住し得るにいたるのである斯の四大根本原理は佛敎の各派に普遍的な根本である而して之れの根本思想の上に經對の信を建つべきである之れを結び最後に京極開敎使の謝辭で十時半閉會となり少憩のち午前十二時二十分の汽車で桑港に向かつたと

ダイニューバ便り

▲講演會 ダイニューバ修養會

討論會の延期

十八日土曜午後七時に

▲市議の討論會 は本夕開催されべき所なりしこの議項(河崎師の講演)を超越すべきものである元來自個を動かす力は外より來るにあらず皆自個に發する自個の表業たるに過ぎず自個の表業は思想、言語、行動なるがそれ表面論議士は過數週間にわたる左れば善惡は他より外來するものでない斯く觀ずれば怨み妬み憎み猜みもなく況んや敵なきのみならず恐らく近ろ稱賛を受せるべきやうなる論議は聞く大討論會となるべしと豫期されてゐるこ

▲中加時報發刊 もこの中加タイムスは中加時報と改稱され十六日紙裝を凝らして發刊さるべきよし

●寄附 故西秀三氏追悼記念としてバレヤ茶森氏五郎氏より佛敎會へ弗▲クロビス部屋野々夫、故ヨシ子嬢追悼のため同學園へ弗

オークランド 王日會報告

▲府日本人會の九日夜催されし定期會及臨時會における五月分の會計及庶務並に野遊會の報告左の如し

會計報告

収入三百三十三弗〇一仙
支出二百三十一弗八十八仙
差引百〇一弗十三仙繰越し

事務報告

灣東日本人デ野遊會
美以總理スミス博士講演會
スヂフト博士性敎育講演會
國籍離脱五件 死亡一件
旅券下附事實 對白人交渉四件
幹事出張一 集會七回 歡迎會
晩餐會二 警察事故一 寄人會員米澤年秋、霜島美郷雄、是清藤、奥村芳一、富山實眞、大澤秀夫

幹事決算報告

総收入現金當附
六百十七弗九十五仙
支出総現金支拂
六百十三弗九十五仙
差引殘額八十三弗九十八仙
右殘額は去る九日の定期會事員會の承認を經て特別會計へ保管

▲婦人部 の見積り價格一百三十五弗何れもその内に外なる振舞に自費海本を疎外始めたで同人の憤慨やる方なく折もあらば主意

▲婦人部 の見積り價格一百三十五弗何れもその内に外なる振舞に自費海本を疎外始めたで同人の憤慨やる方なく折もあらば主意

●菊子の走り 王府の灣東農業會社には諸方より着荷ありて盛の者の出むること深く山にはすむまいと近ろ地方でこの傾向は何人も知らぬは亭主ばかりなりには世の饗何處までも亭主の面に泥を塗る不貞女なる者は鏡の山の神の慢憤談(ヘテビルTM生投)

ホリスター(九日) レタス種子 耕作者組合生る

●代理人を求む 小學校生より大學生徒までの金芳書をして好評あるリンコルシライブラリー辭書の販賣代理人を各地に募集すと特に英語を解する學生等に適し有利なる希望者は王府第七別項廣告のこと

●増田、草野、藤井三氏歸王 王府の灣東農業會社の重役會議出席のため歸府に出張なりし三氏は十一日歸王されたり

ギルロイ(十一日)

●日本學園 小田島學長就職以來その成績漸次良好に赴きつゝあり友校桑次郎氏より出荷せる日本種の長茄子は約三十個種入りの小箱が二弗五十仙づゝに賣捌かれたり

●沈滯業界問題會例會 灣東の國府の事務所に例會を開き頼母子廻りでいつも不在勝ちならるを知るつての幸さし山さ蝶し合して以前入り妻に孕まるるので海本さてもの愛の者の出むること深く山にはすむまいと近ろ地方でこの傾向は何人も知らぬは亭主ばかりなりには世の饗何處までも亭主の面に泥を塗る不貞女なる者は鏡の山の神の慢憤談(ヘテビルTM生投)

●青年會 菱微さして昔の片影を止めず唯一、二會員の努力に過ぎず小冊子を隨時發刊するのみ野球團の如きも無心なる後援者なくなかつた適當なる秘訣なるべきなり後援を振はるさるも不敗戦の華村において敗戦の如しこの

●菊子の走り 王府の灣東農業會社には諸方より着荷ありて盛の者の出むること深く山にはすむまいと近ろ地方でこの傾向は何人も知らぬは亭主ばかりなりには世の饗何處までも亭主の面に泥を塗る不貞女なる者は鏡の山の神の慢憤談(ヘテビルTM生投)

サクラメント

狂を装ふか無錢遊興の曲者

支社を訪れたも魂膽ありさふ世人は僞瞞されるな

（十二日）

失敗續きから發狂した僞の獻策人の竹本玉塲主が互に獻酬の上を書いてくれろ沙市方面には友でふとしたことから喧嘩となり人が多いと去る九日の朝當支社へ殴り合ひを始めたのを行人に見られ訴れた廣島市廣瀬生れ長岡藤られ警官に張せるところ其處に一郎と稱する五十男は紺色の勞はワイン入デビジョンあつたの僞シャープにフンベラ帽子を阿で共に拘引され各五百弗のボ彌陀に被つたところ擬ふ方なくンドを誤せられ放免されたがこ最近市内の飲食店を荒し廻つた人は別に怪我せぬ樣子であつた無錢遊興者であるとの世話になつつた「貧窮」とは好くも廣言を切つたものだ彼のため嫌ひ」とは好くも廣言を切

▲銀行を被つた市内の料理屋等飲食店は彌生亭の十錢弗かを奪銀にし丸萬、丸善、三日月、いろは、千鳥、朝日、夏利、貫砂と始め全部に亘つてゐるそうだ、そのやり口は大布呂敷を擴げて飲み貝食ひ最後に金が無いと來るらしい旅順攻撃釜加の勇兵も斯う馳しくてはお陀佛だ、第一彼れは眞の

▲狂人であるかも疑はしいとのこと支社を訪れたのも惡事の方向轉換のため遠方の知人を誘引するためであるかも知れぬ、金が無いから櫻府へ呼び寄せるとの電報を利用したキたと語つたのである、北加二百五十名の新聞たる盛夏の候に入り山に河に避暑に出かける人も会々多きを加へる折柄て當市運動部長係長のショージ・シム氏は右チ彼れを相手にする者もなかりそふだが高慢ぴした先で例の無遊興をするかも知れぬから僞瞞されぬやう注意して置く

窒扶斯病の豫防注意

一般避暑客に對して加州衛生局の統計によると明年中チブス病での死亡者は百十八名で就中夏期休暇を利用したキヤンプ生活者に罹患者が多かつた由である盛夏の候に入り山に河に避暑に出かける人も会々多きを加へる折柄て當市運動部長係長のショージ・シム氏は右チブス豫防の注意を與へてゐるが旅行者はその地の水を一旦沸騰して飲む故水の中に沃度二三滴を落すか若し又水に沈澱物ある場合には六滴位を落して飲むことだと

津田八重子孃に記念銀盃を贈る

見學團櫻府後援會から本社第二回の故國見學團員たり津田八重子孃の為に募集募集運動費の剩餘金束のため今回櫻府後援會の名で右剩餘金で記念の銀製カップを作製し同孃に贈呈した美麗なカップには昨年三月同孃の出發を祝ふ句が刻まれてゐる曰く「立てその小鳥枝一ばいの春陽」

酒興から喧嘩す

昨十一日の午前三時半頃市内ケーキ街小島玉塲前に人集りしてゐるから何事かと覗げば主人と友人が拘引され五百弗ボンドを出して漸く釋放されたが酒興の上の喧嘩とは呆れ返つた話だ

愛慾地獄　三

—（八十三）—

「何のお覺悟を」

「それは書いて下さいますな。なまれず、その念所を押へられるなら、あなたは親恐ろしい人はないと」

「錦木さま。加納さまは近頃も忍び出たきやうな若侍がもつけれさ、たれも氣に留る者はなかつた。いはんや、それが横ぎつてゐるのです。つじ斬りのうはさのあることはよく承知してゐます。この小判は慾三郎が最初のつじ斬りで奪つたものであるから、間違ひ屋の座敷で投げつけたものである事はいふまでもない。いへば、賢明な讀者は、錦木は殺人の及にかつて、死なうと覺悟してゐるのだ。さきに妙貞尼を迎へたのはそれとなく貞尼を告げるためであつた。錦木は殺人の罪に合點されたのであるが、正しくその通りなのです。錦木は死をもつて殺人をいさめやうと決心しました。廊人の狂及び彼が自分の死骸の懷を探ることがなければ自分が倒れて、その惡業をあらはす機會を與へる筈だ。然るに錦木はさもつけないで、つた時、すぐ手に觸れるやうに、つた一人、夜道の島原田畝を血の涙で認めた遺書をそれら懷紙に包んだ數枚の小判を胸に撫でつけて、錦木は「はいつ」

酒興から喧嘩す

昨十一日の午前三時半頃市内ケーキ街小島玉塲前に人集りしてゐるから何事かと覗げば主人と友人が拘引され五百弗ボンドを出して漸く釋放されたが酒興の上の喧嘩とは呆れ返つた話だ

愛慾地獄　三

—（八十三）—

「何のお覺悟を」

「それは書いて下さいますな。なまれず、その念所を押へられるなら、あなたは親恐ろしい人はないと」

「錦木さま。加納さまは近頃も忍び出たきやうな若侍がもつけれさ、たれも氣に留る者はなかつた。いはんや、それが横ぎつてゐるのです。つじ斬りのうはさのあることはよく承知してゐます。この小判は慾三郎が最初のつじ斬りで奪つたものであるから、間違ひ屋の座敷で投げつけたものである事はいふまでもない。いへば、賢明な讀者は、錦木は殺人の及にかつて、死なうと覺悟してゐるのだ。さきに妙貞尼を迎へたのはそれとなく貞尼を告げるためであつた。錦木は殺人の罪に合點されたのであるが、正しくその通りなのです。錦木は死をもつて殺人をいさめやうと決心しました。廊人の狂及び彼が自分の死骸の懷を探ることがなければ自分が倒れて、その惡業をあらはす機會を與へる筈だ。然るに錦木はさもつけないで、つた時、すぐ手に觸れるやうに、つた一人、夜道の島原田畝を血の涙で認めた遺書をそれら懷紙に包んだ數枚の小判を胸に撫でつけて、錦木は「はいつ」

スタクトン（十二日）

水利と發電を兼ねたメロン・ダム完成

將來ダム設定の好資料

メロン・ダムは過日工事竣成に至り本日竣工の運びとなつたが、北加二百五十名の新聞記者は落成式祝典に招待され今日は盛大なる祝賀會がこのダムで催される場所はスタニスロー河上流である

▲このダムの百十二萬英加の土地に一帯の深さに水を供給し得るばかりでなく灌漑水を貯へると同時に發電機を据つけ三萬六千馬力の水力電氣を起し中加平原一帯に供給することが出來ていはゆる兩得を目的として

▲設計された新近式のダム氏一人であるがこの盛大なる卒業式に有名なるチエスター・ロールエル氏は總長ノールエル氏と共に新に太平洋大學博士會の推薦により博士號を授與せられ同氏は

▲皆濟となり四十年の後には二重の配當を受けることは確実である。

▲ダムの熊谷都二氏は新キャンプ開きの祝ひに昨十一日夜三樹家村雲を招き浪花節會を催した

●熊谷氏キャンプ開き　リバサイドの熊谷都二氏は新キャンプ開きの祝ひに昨十一日夜三樹家村雲を招き浪花節會を催した

太大卒業式にローエル氏博士號を受く

昨十日太大學卒業式に日本人側でグラジュエートしたのは重田氏一人であるが、この盛大なる卒業式に有名なるチエスター・ロールエル氏は總長ノールエル氏と共に新に太平洋大學博士會の推薦により博士號を授與せられ同氏は

●重田氏卒業祝と謝恩會　今日太平洋大學を卒業したる重田氏のため學友十數名は十日午後六時半中ごろ集まり会合し卒業祝賀會を催し八時半から打揃つて晩餐會を催し八時半から打揃つて基督教會における重田氏の卒業演説會に臨んだ出席多く盛會であつたと

ローダイ通信

岡島金彌氏は過般當地經由で

日本テニス順位

日本庭球倶楽部は去る日曜日本年度ランキングを決定したが今年横川は春原を破り第一位を占め順位は、一前川二倉田、三春原、四橋田、五藤井、六高橋、七河本、八中村政、九中村實、十沖山等である

横濱丸で記者招待

十日午後六時から興船横濱丸に乗船し一切を寄せて出帆し午後七時半から晩餐會を催し八時半から打揃つて基督教會における重田氏の卒業演説會に臨んだ出席多く盛會であつたと

船の女給に日本娘

今度横濱から桑港に入つたグランド號には日本娘の女給が日本人客に前かけ姿で乗込んでゐるので調べてみると實はメールライ

濟生十三年

宮坂警師離國

日本病院の宮坂ドクターは一九一四年三月來須以來國際社會保健のため私利を顧みずよく多くの同胞患者のため最善を盡したが、近日愈々帰國の運びとなつたので當地英字新聞及邦字新聞記者家兄の長逝に遭ひ家事上歸國すの止むを得ざることになり爾來永い間の醫務は六月限りにて一切を家庭醫師に委し七月中殘務の整理をなし八月十六日發の春洋丸で家内を歸國させ宮坂氏は直に歐州に赴く事となつたと

●ピンズー　日本人の水店玉塲等に盛んに日本人を扇動しなりたる色黒いピンズーは中村水菓店にて警察の車に積まれ十一日拘引さる

日本放送

KJR

十一日の夜中に早稲田選手團事務日本協會員がなつたプログラムは未だ決定しないが早大野球選手川村領事及日本協會の代表者で外に日本音樂も加へる事になつてゐる

二時から四時の間に特別強電波を使つて日本の間に放送することに決定した

▲西洋料理講習會は開かん瀬戸氏を講師とした西洋料理講習は大成功を收めたるに刺戟されたローダイ有志夫人は是非同地にも同樣の講習會を開かべく御買ひ求めしたいとの希望を有し目下寄り一しの希望を有し目下寄り一協議中であるとの

シャトル（十日）

十弗、同益井嶋より五弗何れも櫻亞學園へ寄附す▲アキヤンボ業會ほ隔月定例集會を日會々館に開催し種々具體的の重要事項

▲實業會例會八日ローダイ實

愈々凶作

フルーツは

ラク四番の菊地藤定氏夫人は北原產院にて次女▲廣島縣人フレ佐々木貞氏は十弗日當宗聖書學院生產は春物より秋物まで本日の されたローダイ有志夫人は是非 ざる有樣である

▲皆濟となり四十年の後には二重の配當を受けることは確実である。

▲ダムの熊谷都二氏は新キャンプ開きの祝ひに昨十一日夜三樹家村雲を招き浪花節會を催した

●熊谷氏キャンプ開き　リバサイドの熊谷都二氏は新キャンプ開きの祝ひに昨十一日夜三樹家村雲を招き浪花節會を催した

櫻賞

アブリカ	二三九
ピーチ	二〇
プルーム	九六八
合計	九七五

一九二六	一九二七
七二八	三三三
二〇	四三
三九五	四三

富市ラヂオ放送局ケー・ゼーアールにては今回早大野球團來

The Japanese American News
THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN
K. ABIKO, PUBLISHER AND EDITOR
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO, CALIFORNIA
ENTERED AT S. F POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
ONE YEAR $11.00
SIX MONTHS ..... $ 5.50
ONE MONTH ..... $ 1.00
SINGLE COPY ..... 5 CENTS

The Recent Literature Of Japan

By Kan Kikuchi
(In Chuo Koron)

Japanese literature, as compared to other learning and cultural attainments, is quarter of a century behind that of Europe.

With the Restoration of 1868, Japan implanted learning and and culture from western countries, and attained high mark in 40 years, which can be favorably compared with Europe and America.

On the other hand, literature is quarter of a century behind. The Japanese literary circle about 1890 was completely detached from Europe. Contacts began slowly by 1895, and brought about a new stage of literature by 1910, marked especially by the implanting of naturalism. Naturalism flourished in Europe toward the latter part of the last century and its transplanting in Japan was twenty to thirty years after that, Japan took into her literary system every school of European writers, and not only pulled it up to the same level with that that of other nations, but reached the present position which is often described as the first in the world in its literary influence.

Naturally, looked from the point of view of literary history, Japanese literature before 1908-1910 belongs to the developmental stage and cannot be compared with the brilliancy of the period after 1908-1910 and the Taisho Era.

Literally speaking, there is no other period during which every available school of western writers was read and studied than Japan of the Taisho Era. As America is often called the melting pot of the races, Japan is the melting pot of western literature. There will be no nation comparable to Japan which so alertly and quickly and almost covetously imported Russion literature; also Northern European, French, and English literature, for that matter. There will be no nation like Japan which so thoroughly digested Strindberg, Ibsen, and Tolstoi. I think there is absolutely no country in the world where there are so many young men richly endowed with literary sentiments as in Japan. I remember once reading Gordon Craig's book in which Japan was ranked second out of eight countries in the amount of translation literature. Japan must have ranked either first or second in the work of translating all sorts of foreign literature. How many foreign literary products had been translated without permission, thus violating the copyrights of many an author on account of the decided difference of the Japanese language! It is safe to state, though nothing can be stated authentically without statistics, that no other country excels Japan in translation literature.—J. S. C. A. Bulletin.

(To be continued)

STOCKTON GIRLS GIVE SONG RECITAL BEFORE PHILOMATHEAN CLUB

3 Japanese Girls Delight Capacity Audience at Recital

"We are three little maids from school," was the lilting refrain that resounded through the appreciative atmosphere as the trio, Kaneda, Margie Kitahara, and Rosie Hasegawa, sang Sullivan's noted composition from Mikado.

At a song recital held by by the pupils of Mrs. McAdam Yerbury last Wednesday evening at the exclusive Philomathean Club house of Stockton, the three diminutive Japanese girls, dressed in the costumes of old Japan, occupied the stellar attraction of the entire program.

Miss Kaneda then followed with her solo recital of "Slumber Song of Izumo" (by Ross) and "Sleigh" (by Konntz).

Miss Kitahara delighted the audience with her "The Sun Whose Ray" (from Mikado); "Kanega narimasu", and "Kaero, kaero" (both by Yamada).

Miss Hasegawa, petite prima donna, received many favorable comments for her excellent confidence, poise and dramatic rendering of "One fine day" (from Madam Butterfly).

SCENE FROM "MADAME BUTTERFLY"

The tragic scene from "Madam Butterfly's farewell" carried with it great emotion and absolute realism.

There were approximately 300 in the audience to hear the 22 different numbers of the program.

S.F. BLAZING ARROW BOYS GIVE BIG ENTERTAINMENT

Yells, Songs, Addresses, Stunts, Musical Numbers And Three Plays Are Features of Big Show At San Francisco Kinmon Gakuen on Friday

I had often heard the "rep"
Of the Blazing Arrows "pep."
But, being a man from Missouri
I had to really go and see,
Was I convinced? Wow!
I was shown—and how!
Those boys put over a show,
That's best this year in Frisco!
—Iwao Kawakami.

"Blazing Arrows, rah-rah-rah, Blazing Arrows, ra-ay!"

The walls of the Kinmon Gakuen shook as the big entertainment of these San Francisco boys started off with a bang at eight o'clock on Friday night.

MR. SUZUKI IS CHAIRMAN:

With Mr. K. Suzuki, chairman of Boys' Work Committee of the Japanese Y. M. C. A. as the presiding chairman, the green curtain was drawn aside on the first number in the program—the Blazing Arrow boys in mass on the stage, forming a crimson "Y." From lusty throats in perfect harmony, came the stirring song: "Y. M. C. A." and yells led by Tsune Baba and followed by a welcome address by the president of the Blazing Arrows, Yasuo Abiko. Following his speech, the curtain was drawn aside again on the "Bear Cubs Ritual" led by Koji Murata.

Next was the first musical number on the program—a violin and piana duet by Mrs. G. Parsons and Mrs. N. P. Abbott. Their first selection was so good it received an encore and they were forced to play another.

DR. COMPTON IS MYSTIFYING:

With the simplest implements, such as sticks, strings, eggs, boxes and a hat, Dr. G. Compton completely mystified the audience, and he lived up to "Magic and Mystery."

Tumbling and pyramid stunts were next with Pioneers and Bear Cubs led by Koji Murata and Isamu Yamakawa.

A trumpet duet with Mr. Bender and Hisashi Moriyama then followed and their playing was so good, they received much applause and were forced to play another selection: "When You Waltz With the One You Love."

A vocal solo was then given by Mrs. Abbott and she also received an encore and complied with another song.

"LAST REHEARSAL" FUNNY PLAY:

Before the intermission a play "The Last Rehearsal" was given by the younger boys. It was an uproarious comedy concerning the joys and sorrows of a stage manager and his company in "The Last Rehearsal." The cast was as follows:

General—Shigeru Koba
Spy—Isamu Yamakawa
Orderly—George Hata
Carpenter—Kimio Obata
Ashman—Harry Madokoro
Stage manager—Sumio Miyamoto

In the intermission, ice cream bricks were sold by the Blazing Arrow boys and "every vender quickly sold out his goods."

MR. TOMIZAWA GIVES ADDRESS:

After the intermission, a speech was given by Mr. K. Tomizawa, executive secretary of the Japanese Y. M. C. A. who stressed the need of building new Y. M. C. A. organizations and urged the Japanese people to raise the fund necessary for the purpose.

After his talk, a saxaphone solo was given by Kotaro Oku, accompanied by Miss Saku Baba. This was followed by a harmonica solo by Yoshimi Motoyoshi which delighted the listeners so much, he had to give another selection.

A "Pickanny Minstrel Show of 1927" was then pulled off by the Pioneers,, which aroused considerable mirth and laughter by singing and jesting in blackface.

A piano solo was then given by Newton Tani and he, being heartily applauded, obliged with another selection.

PLAY GIVEN IN JAPANESE:

A Play in Japanese: "Manjuno-nai-kuni" was next presented by the Hi-Y members and it went over big with the first generation people in the audience.

A saxophone duet then followed with Yoshimi Motoyoshi and Koji Murata blowing melancholy bubbles through their golden instruments.

LAST PLAY IS KNOCK-OUT

The last, but not the least was a "mad-cap mellowdrama" by the Comrades called "Ding-a-ling." The play concerned the dark doings of a shyster employment agency and the final denouncement when four irate employers stormed the agency for the services of a "beeg, strong man" who had promised to be in four places at four o'clock in the afternoon. The cast was as follows:

Morgan Shyster, an employment agent—Kazuo Kaneko.
Fritz Katzendoodle, who wants a job—Tadashi Fujita.
Pietro Vanucci, a wine maker—Susumu Yamakawa.
George Bones, a bell-boy—Tsune Baba.
Reuben Corntassel, a farmer—Siberius Saito.
Heine Grauerholz, a sausage man—Shuichi Miho.

With "Blazing Arrows, rah-rah-rah, Blazing Arrows, ra-ay!" the entertainment came to an end.

A Moonlight Sonata

(By Norman B. Uyeda)

A midnight nuisance
Is that cat.
Meow's all night,
Just for a rat.
It's perfectly all right
For his appetite.
But keeps me wide awake
All through the night.
And so tonight,
I'll stay up and shoot him!
And watch his nine noted lives,
Grow dark and dim.

Stockton Yamato Cubs Hold Election Meeting

At the last meeting of the Stockton Yamato Cubs, the much-delayed election of the Captain, and assistant Captain was held; and as a result, "Whizz" Nakahara was elected Captain and "Frenchy" Yamasaki assistant Captain.

With the conclusion of the meeting, an interesting lecture on baseball was given to the members of the Cubs by "Bear" Nushida, Captain and star pitcher of the Yamato All-stars. The lecture which consisted of numerous plays and fundamental rules governing baseball, as well as trick plays, lasted for more than two hours, and the members came out much wiser than when they went in.

JAPANESE GIRL IS VALEDICTORIAN AT MADERA UNION HI

Marjorie Itanaga Speaks On "Second Generation Japanese"

"Our fathers and mothers are doing their best to attain an Americanization goal for us. Their trials and hardships cannot be compared with those of the younger generation," stated Miss Marjorie Itanaga, 17-year-old valedictorian of the class of 1927 of Madera Union High school, at the commencement exexercises held Thursday night. Her topic was "The Second Generation Japanese."

"They (the seccond generation) are the pioneers of the apanese race in this country, so thier lot is difficult, just as was that of the colonial settlers of America who went through an immeasurable degree of suffering."

She also said that there is an opportunity for the second generation to take the best of the culture of their parents and combine with it the best of what they may gain from the American education. The importance of the position of the second generation in the matter of the relationship between Japan and America was stressed.

In conclusion, Miss Itanaga quoted very effectively the following pledge which won the prize for a thirteen year old American-born Japanese girl last year:

"I pledge allegiance to you, Flag of my United States, in word and deed. I believe that you will help me to be a loyal citizen, both in peace and in war. I believe that your stars are the shining symbol of the eternal brotherhood of men in this world. 'Old Glory,' as I stand and salute your heroic colors of Red, White, and Blue, I promise to follow your ideals of Liberty, Justice, and Peace, not only for America but for the world."

MISS ITANAGA IS HONOR STUDENT:

The valedictorian's name was announced as one of the three honor students to receive the seal of the California Scholarship Federation on her diploma. Forty-five students graduated.

Approximately 1,000 persons atended the exercises which was held in the school auditorium.

Afterwards, a group of friends motored to Itanaga home where a supper in honor of Miss Itanaga was held.

Fresno Girls Hold Party For Popular Bride-Elect

Miss Ayako Okuda Presented with Beautiful Gift

Miss Ayako Okuda, whose marriage to Mr. Okamura of Bowles is planned for next Thursday, had a party given in her honor by a group of her college girl friends on June 9.

She received a set of dishes, which was presented to her by Misses Yoneko Toyada, Isami Outa, Kazuko Matsumura, Sadie Hori and Tosato Kawai. Miss Fumiko and Jeanette Kawai were also among those present. The rest of the afternoon was spent in singing and signing each other's autographs.

Stockton High To Hold Commencement Thursday

The commencement exercises of the Stockton High School will be held next Thursday, June 16, in the school auditorium, from 7 p. m. Nine Japanese students will receive their diplomas at that time. They are: Toshiko Hasegawa, Haruo Hotta, Mikio Itaya, Kazu Kanagawa, Fumiko Kaneda, Minoru Matsushima, Junichi Nakashima, Charles Usui, and Takeo Yokoi.

BOWLES YOUNG PEOPLE SPONSOR GRADUATION PARTY MONDAY NIGHT

Four Graduates Are Honored at Reception

The young people of Bowles held a very successful graduation party in honor of the public school and Nippon Gakuen graduates last Monday evening at the church.

Isamu Namba presided over the reception, while Y. Kumatani from the boys and Kofumi Shingawa from the girls delivered the congratulatory speeches. Instructor Handa also congratulated the new graduates. Fumiko Namba responded in behalf of the graduating students, and this was followed by "dai-nishiki" program, in which games and refreshments took a prominent part.

The following are the graduates:

High School—Toshio Namba; Nippon Gakuen—Tamaye Kumatani, Hiroshi Arakawa, and Fumiko Namba.

THINGS THAT NEVER HAPPEN

TSUKI-SARAYE
安全
イージー月さらへ
婦人科專門米國醫學博士ケーレー氏創製、獨乙醫博士パークス氏推奨證明の流經專門イージー月さらへは前記ケーレー博士が多年の研究に依つて子宮特効劑 Ergotin (Bonjean) 並に Aloe を主劑として之れに Ferrous Sulphate Drid 及特種の揮發油其他を特異の配合を以つて調製した流經一方の藥劑奏効適確且つ安全な點に於て最も理想的新製劑なり
月經
閉止四ヶ月以内に本劑を服用すれば、確實に奏効應用の目的を達する事が出來る。新界の大家ケーレー博士の通經專門藥は其流經至極イージーにして胃腸や身體を害せず、副作用的身體の變化は當時も將來も絶對になきを以て今や現代婦人間に於て最も實用歓迎さる。
定價一週間分五弗 (郵送料不要)
THE IWAKI DRUG CO.
210 E. First Street, Los Angeles, Calif. U. S. A
發賣元
岩城ドラッグ商會
加州羅府東一街二〇一 (Tel. VA 9110)

SAFE-T-FIRST
殺菌藥座
セーフテーブースト
本劑は!
體温に依り一二分に解け、膣内にてコロイド化せる持續性の強い殺菌泡を發生し總ての毒菌、生菌を殘らず擴散する。ハフキン博士の方劑にして完全なる障壁を殺菌の重復作用をなす。確實なる膣内殺菌劑なり。
「時代の要求は母の爲に終に此新劑を生めり」
"God helps those who help themselves"
「爽快にして安全無害」
代價二弗=五弗 (郵送料不要)
岩城ドラッグ

麻病ゴノキール
男子の「淋病」
男子の淋病急性デ疼痛激シク腰汗或ハ血ノ出テ惱ム者、尿意頻繁其都度痛ミ惱メル者、慢性デ時々發病スル者、淋滴又ハ混濁ヲ取レス者其ガコジレテ膀胱加答兒或ハ膀胱炎、攝護腺炎トナリテ苦惱スル者。
婦人の「消渇」
婦人ハ男子ノ樣ニ激シク感ゼヌガ常ナレドモ男子ノ淋疾ト同ジク尿意頻繁、痛ミヲ感ジ腰汗ヤ下り物ニアテテ下腹痛ミ疲倦ヘ時々惡寒シテ遂ニハコジレテ子宮ヤ膀胱ヲ侵サレテ惱ミ苦シム者。
(生成) 本劑獨逸藥學博士ハフキン氏多年ノ研究ニ依リ Santalase 屬植物ノ揮發油並ニ Caesalpiniaceae 屬植物ノ樹脂液ヲ主劑トシ之レニ Pd. Cubeba. Qum Terpentin. Oil Wintergreen 等ヲ特異ノ配合ヲ以テ調製シタ新製劑デアツテ淋疾治療劑中最モ權威ト信用ノアル本劑ハ其鋭敏ナ化學的作用ニヨツテ最モ迅速ニ確實ナ偉效ヲ奏シ膀胱ニ何等ノ副作用ヲモ及ボス事ナシ
定價一週間分五弗 (郵送料不要)
定價四週間分九弗 (郵送料不要)
RHOEFFKEN'S Gonokeel
Dose: 2-3 tablets three times a day after each meal.
Manufactured by THE IWAKI CHEMCAL CO. LOSANGELES U.S.A
50 tablets
岩城ドラッグ
GONOKEEL